

今日のトピック

ブラジル中銀が6会合連続の利上げ

ポイント1 市場予想通り0.50%の利上げ

政策金利は約6年半ぶりの高水準

- ブラジル中央銀行(以下、中銀)は3日、市場の大方の予想通り政策金利を0.50%引き上げ、13.75%とすることを全会一致で決定しました。
- 政策金利は昨年10月の会合から6会合連続で引き上げられ、約6年半ぶりの高水準(2009年1月、13.75%)になりました。

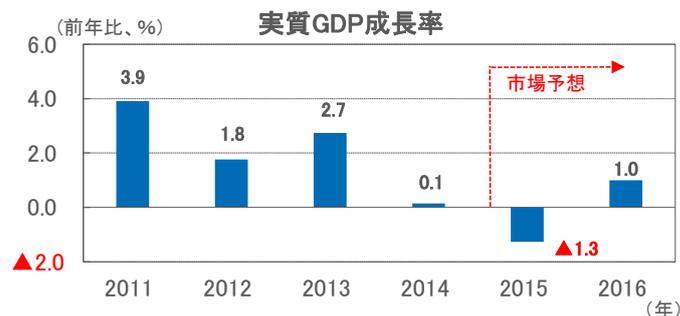
ポイント2 利上げを続ける見込み

物価抑制姿勢を継続

- 声明文の内容は、前回会合から変更がなく、景気とインフレの見通しを踏まえ、全会一致で決定したとしました。中銀は物価抑制の姿勢を続けており、次回会合(7月28日~29日)でも利上げが行われると見られています。
- 5月前半の消費者物価指数は、前年同月比+8.24%と、中銀の物価目標(年+2.5%~+6.5%)の上限を大きく上回る状況が続いています。財政再建に向け補助金が削減され、電気料金が大きく値上げされたことなどが背景であり、中銀はこうした公共料金値上げの影響が広がることを警戒しています。



(注1) 政策金利は2008年6月1日~2015年6月3日。
消費者物価指数は2008年6月~2015年5月(2015年5月は月前半)。
(注2) 消費者物価指数の市場予想は、ブラジル中央銀行が6月1日に発表した調査結果。
(出所) Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) 実質GDP成長率の市場予想は、ブラジル中央銀行が6月1日に発表した調査結果。
(出所) 国際通貨基金(IMF)、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 政府・中銀の政策による中長期的な景気支援効果に期待

- 中銀が1日に発表したエコノミストを対象にした調査によると、2015年末の物価上昇率予想は前年比+8.39%、2016年末は同+5.50%でした。市場予想が中銀の物価目標の中心(同+4.50%)に近づくまで、追加利上げ観測は残ると思われず。
- 利上げは、財政再建に向けた増税や歳出削減と

- 同時に進められる格好です。当面の景気は、政府・中銀の政策による下押しから低迷しそうです。
- ただし、2016年に向けて景気は上向き見通しです。政府は、財政再建に取り組むなかでもインフラ投資を続けるなど景気に配慮しています。また、利上げにより物価が落ち着く場合、消費や投資への下支えになると見られます。

ここも
チェック!

2015年06月03日 続く「財政再建」への取り組み(ブラジル)
2015年05月19日 最近の指標から見るブラジル経済(2015年5月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。